

～連携して魅力ある地域づくり～  
**しらかわ地域定住自立圏形成協定合同調印式**



本町と白河市は、4月10日、しらかわ地域定住自立圏の形成に関する協定を締結しました。また、同日、県南地域の残る7町村においても同様に白河市との協定を締結しました。

この協定は、中心市宣言を行った白河市とその宣言に賛同した町村が、定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し、住民の皆さんが安心して暮らし続けることができる定住自立圏を形成することに関して必要な事項を定めたものです。

協定を締結した市町村は、下記の政策分野の取組みにおいて相互に役割を分担して連携を図り、共同し、または補完し合うこととなります。

なお、今後は、具体的な取組内容を盛り込んだ「定住自立圏共生ビジョン」の策定に取り組みます。

①生活機能の強化に係る政策分野

- 医療（地域医療体制の維持・救急医療体制の維持）
- 福祉（福祉サービスの充実）
- 健康増進（住民の健康増進）
- 子育て支援（子育て支援の充実）
- 教育（スポーツの振興・施設の相互利用・図書館の相互利用体制の構築・芸術文化の振興）
- 観光振興（広域観光の推進）
- 産業振興（企業の競争力向上・農業の担い手確保・農産物の消費拡大・鳥獣被害対策）
- 相談体制の充実（法律相談等、住民に対する相談体制の強化）
- 環境衛生（環境対策）

②結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- 公共交通（地域公共交通網の構築）
- 消防防災（消防防災体制の拡充）
- 道路等インフラの整備（市町村間の連携が図れる道路整備・道路等インフラの効率的な更新や維持管理）
- 定住促進（定住の促進）
- 婚活支援（婚活の支援）
- 情報化の推進（効率的な情報通信システム等の運営）
- その他（業務の効率化）

③圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- 人材の育成（職員の育成）
- 外部人材の活用（外部人材の活用）



**まちづくり** Industrial Promotion & Partnership  
**産業振興&協働**

～年間発電量は一般家庭約300世帯分～  
**「エネワンソーラーパーク矢吹」竣工式**



3月19日、「エネワンソーラーパーク矢吹」（太陽光発電所）の竣工式が、丸の内地内で行われました。

エネワンソーラーパーク矢吹は、平成26年8月に着工し、今年2月に完成。常磐共同ガス株式会社（いわき市）・株式会社サイサン（埼玉県さいたま市）・森和エナジー株式会社（東京都千代田区）による共同事業体として運営され、太陽光パネル設置枚数は4,280枚、年間発電量は約1,087,000キロワット時（一般家庭約300世帯分）に相当します。

また、敷地内には、町民の皆さんをはじめ、より多くの人々が太陽光発電の様子を見ることができるように見学施設も設置されています。

設置場所	矢吹町丸の内360、351、350、349-1
設置面積	17,743㎡
事業者	エネワンソーラーパーク矢吹 共同事業体
操業開始	平成27年2月24日



～東日本大震災（3月11日）の記憶を後世に～  
 ろうばい  
**蠟梅の植樹祭**

ボランティア団体「やぶき遊・ゆうライフクラブ」（鈴木一夫代表）による「蠟梅の植樹祭」が3月28日、西山墓園敷地内（井戸尻）で行われました。



この活動は、3月頃に黄色く可憐な花を咲かせる蠟梅の花見山づくりとして、平成24年度から継続的に行われており、「東日本大震災の記憶が後世に語り継がれていくように…」という会員の皆さんの思いが込められています。

当日は、会員約20人と野崎町長の手で、新たに蠟梅の苗木約70本が植えられ、これまでに植樹された蠟梅は、約250本になりました。